

ぼうさいくんれんにさんかしよう

いざというときにおちついて行動こうどうするためには、ひなんくんれんにしんけんたいせつにさんかすることが大切です。
 学校がっこうのひなんくんれんだけではなく、地ちいきのぼうさいくんれんにも、すすんでさんかしましょう。

1 いざというときのために

同じことでも、くりかえしくんれんして、正ただしいひなんの方ほうほうをおぼえるひつようがあります。



けむりの中なかでの歩き方あるのくんれん



しょう火かきでしょう火かたい体けん



けがの手当てあてを教おしえてもらう



友だちと手当てあてのれんしゅう



ひなんくんれんやぼうさいくんれんで、まもらなければならぬ大切なたいせつことは何なんでしょう。

2 地ちいきの人ひとといっしょに

さいがいがおきたときに、力ちからを合あわせて生活せいかつするためには、日ひごろから地ちいきの人ひとびととかかわることが大切たいせつです。地ちいきのぼうさいくんれんにもさんかしてみましょう。

そして、すむ地ちいきでさいがいがおきたときに、どのよかんがうにひなんしたらよいか考かんがえましょう。



ひなんじよつくを作るくんれん



夜よるのくんれん



小ちいさい子こどもの世せ話をわする



みんなの地ちいきでは、どどんなくんれんがあるかしらべてみよう。

くんれんにさんかしたかんそうを、話はなし合あってみましよう。

